

秋田弁護士会主催

「死刑を考える日」

～冤罪と再審制度～ 映画上映と講演会



秋田弁護士会マスコットキャラクター
ききーぬ

2024年6月9日(日曜日)

午後1時～4時頃 (12時30分開場)

にぎわい交流館AU 3階多目的ホール 秋田市中通1-4-1

入場無料・予約不要

冤罪青春グラフィティ



『SAYAMA みえない手錠をはずすまで』
『袴田巖 夢の間の世の中』に続く
シリーズ第3弾!

監督 金 聖雄

獄友

ごくとも

ドキュメンタリー映画
2018年 115分

撮影 池田俊巳 渡辺勝重
音楽 谷川賢作
プロデューサー 陣内直行
製作・配給 Kimoon Film



杉山卓男
獄中29年



袴田巖
獄中48年



石川一雄
獄中31年7ヶ月



菅家利和
獄中17年6ヶ月



桜井昌司
獄中29年



やっていないのに、殺人犯。
人生のほとんどを獄中で過ごした男たち。
彼らは言う「不運だったけど、不幸ではない」。

「死刑を考える日」 ～冤罪と再審制度～

第1部 映画「獄友」上映 第2部 講演 金聖雄 監督

お問い合わせ 主催 秋田弁護士会 〒010-0951 秋田県秋田市山王6丁目2-7

〔電話受付 平日 9:30～16:30〕 TEL 018-862-3770(代表)

共催 日本弁護士連合会・東北弁護士会連合会



<https://akiben.jp/>

「また冤罪映画!？」と思う人もいるだろう。 しかし、どうしても描かなければならないものがある。

彼らは人生のほとんどを獄中で過ごした。いわれの無い罪を着せられ、嘘の自白を強要され、獄中で親の死を知らされた。奪われた尊い時間は決して取り戻すことができない。しかし、絶望の淵にいたはずの彼らは、声をそろえて言うのだ。

「不運だったけど、不幸ではない」と。

彼らにとって「獄中」は生活の場であり、学びの場であり、仕事場でもあった。まさに青春を過ごした場所なのだ。「冤罪被害」という理不尽きわまりない仕打ちを受けながら、無実が証明されることを信じ懸命に生きてきたのだ。時に涙し、怒り、絶望し、狂い、そして笑いながら……。

自分たちのことを「獄友」と呼び、お互いを支え合うようになった。獄中での毎日を懐かしそうに語り、笑い飛ばす。そこには同じ冤罪被害者だからこそわかり合える特別な時間があった。

私が獄友たちと出会い、娑婆での日々カメラを向け始めてから7年。失われた「青春」を取り戻すように生きる獄友たちの姿を追い続けた。奪われた時間の中で、彼らは何を失い、何を得たのか。獄友の生きざまから司法の間、人間の尊厳、命の重さを感じずにはいられない。



監督 金 聖雄

映画、テレビ番組、PR映像など幅広く手がける映像作家。『花はんめ』『空想劇場』などのドキュメンタリー映画を製作。2013年の「SAYAMA みえない手錠をはずすまで」は、キネマ旬報文化映画第3位、毎日映画コンクールドキュメンタリー映画賞受賞。前作は『袴田 夢の間の世の中』。1963年大阪生まれ、在日2世。



【獄中 29年】
杉山卓男

1946年・茨城県生まれ。1967年、桜井昌司さんと共に「布川事件」の強盗殺人犯として逮捕。2009年再審開始、そして2011年無罪が確定。釈放後は家庭を築き静かに暮らしつつ再審を闘った。



【獄中 48年】
袴田 巖

1936年・静岡県生まれ。1966年に4人が殺害、放火された「袴田事件」で犯人にされる。1980年死刑確定。2014年、静岡地裁において再審が決定し釈放。しかし、検察が即時抗告したため今も死刑囚。重い拘禁症を患う。



【獄中 31年7ヶ月】
石川一雄

1939年・埼玉生まれ。1963年に女子高校生が殺害された「狭山事件」の犯人として逮捕される。1964年一審死刑判決、1977年無期懲役が確定し、1994年仮釈放。現在、第三次再審請求中。



【獄中 17年6ヶ月】
菅家利和

1946年・栃木県生まれ。1990年に起きた「足利事件」で4歳の女児殺しの犯人にされる。2009年、DNAの再鑑定で無実が証明され、再審開始を前に釈放。2010年に再審で無罪が確定。



【獄中 29年】
桜井昌司

1947年・茨城県生まれ。1967年に「布川事件」の強盗殺人犯として、杉山卓男さんと共にでっち上げられる。2011年に無罪が確定するも、未だ無実が晴れない仲間を思い冤罪のむごさを伝えている。

主題歌 「真実・事実・現実 あることないこと」

作詞：谷川俊太郎 作曲：小室等 音楽監督：谷川賢作

この歌は、冤罪で苦しむ人々を救済して応援する「冤罪音楽プロジェクト イノセンス」の賛同ミュージシャンによって生まれました。https://innocence2018.wixsite.com/in2018

ayako_HaLo アン・サリー 李政美 伊藤多喜雄 うじきつよし 及川恒平 大熊ワタル
こぐれみわぞう 河野‘面ちゃん’俊二 小室等 こむろゆい 坂田明 沢知恵 白崎映美
谷川賢作 趙博 トリ音 中川五郎 中川敬(ソウル・フラワー・ユニオン) 橋本学
POE(朴保) *はななお* 牧原正洋 良元優作 吉野弘志 四角佳子



獄友

撮影：池田俊巳 渡辺勝重 現場録音：池田泰明 録音：吉田茂一 編集：野村太 編集助手：池田剛 語り：金聖雄 音楽：谷川賢作(作曲・ピアノ)
小室等(ギター・ハミング) トリ音(テルミン) こむろゆい、李政美(ハミング) 牧原正洋(トランペット) 吉野弘志(コントラバス) 橋本学(ドラム)
音楽録音：ichiro 制作デスク：沢口絹枝 スチール：村田次郎 イラスト：千葉佐記子 印刷物制作：松井一恵 印刷物デザイン：加藤さよ子
プロデューサー：陣内直行 製作協力：映像グループ翔の会 協映 製作・配給：Kimoon Film

キムーンフィルム 184-0011 東京都小金井市東町4-8-13 小出ハイツ 201号 電話 042-316-5567 FAX 042-316-5882
メール info@gokutomo-movie.com http://www.gokutomo-movie.com

「死刑を考える日」～冤罪と再審制度～ 2024年6月9日(日)
映画上映と講演会 午後1時～4時頃(12時30分開場)
にぎわい交流館AU 3階多目的ホール 秋田市中通1-4-1



入場無料
予約不要